

2019年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月31日

上場会社名 株式会社トライアンフコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 3651 URL http://www.uet.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小澤 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 部長 (氏名) 末次 達也 (TEL) 03(5332)6751
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第2四半期の連結業績(2018年10月1日~2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	1,643	44.1	△14	—	△3	—	△49	—
2018年9月期第2四半期	1,140	1.1	88	5.2	87	15.4	72	52.2

(注) 包括利益 2019年9月期第2四半期 △61百万円(—) 2018年9月期第2四半期 72百万円(72.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	△4.2	△3.6
2018年9月期第2四半期	4.6	3.9

(注) 当社は2019年4月1日付けで普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第2四半期	4,007	403	10.1
2018年9月期	3,630	376	7.6

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 403百万円 2018年9月期 275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2019年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日~2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,690	51.2	183	—	168	354.1	70	—	67.05

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 2社 (社名) 株式会社ミード、ITソフトジャパン株式会社
 除外 1社 (社名) -

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年9月期2Q	11,772,000株	2018年9月期	10,440,000株
② 期末自己株式数	2019年9月期2Q	1,860,000株	2018年9月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年9月期2Q	11,616,220株	2018年9月期2Q	10,440,000株

- (注) 当社は2019年4月1日付けで普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※四半期決算短信は、公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※2019年第2四半期決算短信より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(当期の経営成績)

情報技術事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は1,154,648千円(前年同期比12.6%増)となりました。SSB(システム・サービス・ビジネス)は、インフォメーションサービスフォース株式会社のSE稼働率が98.5%(前年同期97.2%)となり順調に推移しています。SSBにおける人材採用活動は、IT人材の不足と採用競争が激化する状況下にあります。インフォメーションサービスフォース株式会社において、採用計画4名に対して実績5名(第1四半期は計画4名に対して実績1名)となりました。SPB(システム・プロダクト・ビジネス)は、株式会社C2の当第2四半期連結累計期間末日におけるスマートフォン用アプリの提供数が累計181本(第1四半期末は146本)となり、連結業績に寄与しました。

不動産事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は39,611千円(前年同期比8.2%増)となりました。当第2四半期末日の収益稼働率は88.3%でした。

販売促進事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、151,759千円となりました。株式会社パルスは、当第2四半期累計期間のイベント開催件数が293件となりました。

旅行宿泊事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は129,733千円となりました。NHホテルマネジメント株式会社による当第2四半期末の受託運営客室数は970室(第1四半期末は754室)となりました。

服飾雑貨事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は138,542千円(前期比81.9%増)となりました。株式会社アドバンスは、2017年12月から2018年4月にかけて行われた一連のM&Aにより業容が大きく変化して売上高は急増しましたが、不採算事業の再生が計画どおり進捗していないため、現在、その撤退に取り組んでいます。

食品飲料事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は29,081千円となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,643,377千円(前年同四半期比44.1%増)、営業損失14,734千円(前年同四半期は88,471千円の営業利益)、EBITDA(注1)34,729千円(前年同四半期比69.7%減)、EBITA(注2)21,202千円(前年同四半期比79.8%減)、経常損失3,189千円(前年同四半期は87,141千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失49,126千円(前年同四半期は72,122千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

当社は、2019年3月4日付で株式会社ミードを完全子会社化しました。同社は、婦人靴の製造事業を行っており、当社グループでは2019年4月1日付で連結決算における取得とし、同社の事業を服飾雑貨事業として扱う計画です。また、インフォメーションサービスフォース株式会社(当社子会社)は、2019年3月29日付けでITソフトジャパン株式会社を完全子会社(当社の孫会社)化しました。

(注1) EBITDAは、営業利益に減価償却費(有形固定資産および無形固定資産)を加算した額です。

(注2) EBITAは、営業利益に減価償却費(無形固定資産)を加算した額です。

(今後の見通し)

情報技術事業は、インフォメーションサービスフォース株式会社が、2019年7月1日付けでITソフトジャパン株式会社を吸収合併する計画です。

不動産事業は、大きな変化はありません。

販売促進事業は、上半期に売上高が増加して下半期に減少する季節変動が生じるため、その影響に基づいた業績の変動が生じる見込みです。

旅行宿泊事業は、2019年4月以降、運營業務の新規受託が増加する見通しであること及び入国管理法改正により外国人労働者の増加が見込まれ一層の受注増加に対応できる道筋ができたことから、売上高の成長及び収益性の改善に取り組んでいます。

服飾雑貨事業は、株式会社アドバンスが不採算事業からの撤退を加速させるために、ブランド事業から全面的な撤退を決定したほか、全ての事業において個別に不採算プロジェクトから撤退を進めています。また、株式会社ミードの取得により、服飾雑貨事業の売上高は大幅に増加する見通しです。

食品飲料事業は、大きな変化はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	792,970	500,399
受取手形及び売掛金	371,425	471,985
有価証券	188,000	92,413
担保預け金	—	96,766
商品	34,880	55,781
仕掛品	10,751	49,139
原材料及び貯蔵品	—	12,843
繰延税金資産	13,695	—
前払費用	18,495	22,463
株式申込保証金	—	300,000
その他	73,969	41,399
貸倒引当金	△5,547	△5,689
流動資産合計	1,498,640	1,637,502
固定資産		
有形固定資産		
建物	542,763	1,297,770
工具、器具及び備品	5,460	10,166
土地	747,550	72,896
その他	13,291	32,536
有形固定資産合計	1,309,065	1,413,370
無形固定資産		
のれん	614,886	721,310
その他	1,095	6,053
無形固定資産合計	615,982	727,363
投資その他の資産		
投資有価証券	92,520	65,959
長期貸付金	36,148	57,115
長期前払費用	5,173	4,937
保証金	77,492	71,659
繰延税金資産	2,860	37,078
その他	410	651
貸倒引当金	△7,724	△7,858
投資その他の資産合計	206,880	229,544
固定資産合計	2,131,928	2,370,277
資産合計	3,630,569	4,007,780

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	124,933	172,413
短期借入金	2,500	183,000
一年以内返済予定長期借入金	396,907	427,814
一年以内償還予定社債	72,000	32,000
未払金	174,056	176,361
未払費用	36,620	24,162
未払法人税等	20,402	40,784
未払消費税等	35,632	27,801
預り金	54,531	64,862
前受収益	13,872	40,104
借入有価証券	—	96,768
賞与引当金	4,500	6,000
受注損失引当金	1,598	21,919
その他	10,388	27,583
流動負債合計	947,940	1,341,575
固定負債		
長期借入金	2,187,436	2,174,143
社債	68,000	52,000
繰延税金負債	10,720	—
資産除去債務	24,626	21,749
退職給付に係る負債	6,729	13,779
その他	8,599	833
固定負債合計	2,306,112	2,262,506
負債合計	3,254,053	3,604,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,125	35,392
資本剰余金	47,078	198,898
利益剰余金	187,745	204,862
自己株式	—	△36,642
株主資本合計	266,949	402,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,534	1,187
その他の包括利益累計額合計	8,534	1,187
非支配株主持分	101,032	—
純資産合計	376,516	403,698
負債純資産合計	3,630,569	4,007,780

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
売上高	1,140,818	1,643,377
売上原価	827,775	1,116,026
売上総利益	313,042	527,350
販売費及び一般管理費	224,571	542,084
営業利益又は営業損失	88,471	△14,734
営業外収益		
受取利息及び配当金	91	1,085
売買目的有価証券運用益	7,551	15,127
その他	1,976	11,547
営業外収益合計	9,619	27,761
営業外費用		
支払利息	9,744	14,711
その他	1,205	1,504
営業外費用合計	10,949	16,216
経常利益又は経常損失	87,141	△3,189
特別利益		
負ののれん発生益	9,213	—
債務免除益	—	6,655
特別利益合計	9,213	6,655
特別損失		
前期損益修正損	—	8,871
固定資産除却損	—	7,031
特別損失合計	—	15,903
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	96,355	△12,436
法人税、住民税及び事業税	20,150	40,547
法人税等調整額	4,082	△3,857
法人税等合計	24,232	36,689
四半期純利益又は四半期純損失	72,122	△49,126
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	72,122	△49,126

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	72,122	△49,126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	590	△11,930
その他の包括利益合計	590	△11,930
四半期包括利益	72,713	△61,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,713	△61,057
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

株式分割

当社は、2019年1月9日の取締役会において、下記のとおり、株式の分割を行うことを決議しました。当該株式分割の内容は次のとおりです。

1. 株式分割の目的

株式分割を実施することで、投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

① 分割の方法

2019年3月31日(日)(実質上2019年3月29日(金))を基準日として、同日最終の株主名簿に記録された株主の所有普通株式を1株につき10株の割合をもって分割しました。

② 株式分割前の発行済株式総数

普通株式 1,177,200株

③ 今回の分割により増加する株式数

普通株式 10,594,800株

④ 株式分割後の発行済株式総数

普通株式 11,772,000株

⑤ 株式分割後の発行可能株式総数

普通株式 40,000,000株

3. 株式分割の効力発生日

2019年4月1日

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第2四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。